

朝の館内放送

平成29年8月7日
スピーカー 市長

おはようございます。市長の中村健です。

先日、蒲郡市にある、竹島水族館の小林館長の講演を聴く機会がありました。

竹島水族館は、一時は、年間来場者数が12万人にまで落ち込み、閉館の危機に追い込まれながらも、現在では40万人近い来場者数があります。

閉館の危機にあった当時は、「成功よりも安泰、安全パイ」「いいとこ取りされる成果」「出る杭は打たれる」等の特徴があったそうですが、「改善、より良くという意識」「魚中心の考えからお客さんのためという意識」「できない理由よりできる方法を考える」「お金が無いなら知恵を出す」等の意識改革により、見事にV字回復を果たしました。

また、メディア対応についても、「こんなに楽しいもの、珍しいものがあります、取材に来てください」というだけの姿勢ではなく、「日本初」「日本最大級の」「女性に人気の」等のキーワードを上手く使いながら、流行・人気を作り出すプロデュースをされており、大きく感銘を受ける講演でした。

水族館の経営と、市政運営とでは、必ずしも同様に考えられることばかりではありませんが、危機的な情報から立ち直ることとなった真髓や知恵の絞り方については、参考になる面も多々あると思います。

「市民中心の考えで、常に改善という意識」「できない理由よりできる方法を考える」「財政的に厳しいからこそ知恵を出す」という心構えで日々の業務に取り組み、多くの市民のみなさんから信頼していただける西尾市を創ってまいりましょう。

今日も一日、よろしく申し上げます。